



おまち~

Vol.
88

2015. 3. 1 (隔月1回1日発行) 編集発行：群馬県県土整備部都市計画課(まちづくり推進係)

花と緑の ぐんまづくり 2015 in 中之条 ~ふるさとキラキラフェスティバル~

2015年 4/18(土) ▶ 5/31(日)

メイン会場／花の駅「美野原」
中之条町中心市街地

サテライト会場／花の駅「花楽の里」・道の駅「霊山たけやま」・オープンガーデン福田
おもてなし処／四万温泉郷、沢渡温泉郷、六含温泉郷、大岩フラワーガーデン、下山田れんげの里



ぐんまちゃん

花の駅「花楽の里」



なかのん

なかっこちゃん

花の駅「美野原」

ふるさと交流センター
つむじ



地域公共交通とまちづくり

- 宇都宮市の LRT 事業について
- 公共交通につよいまちづくりを目指してー上信電鉄・佐野のわたし駅ー
- 高商大生による上信電鉄沿線地域活性化への取組み

【トピックス】 ぐんま「まちづくり」ビジョンシンポジウムモビリティ・マネジメントを開催しました！

マーチィ'sROOM

- マーチィに訊け まちづくりライブラリーからおすすめの一冊
- マーチィ VOICE ファシリテーター紹介
- マーチィの掲示板 新井 (群馬県都市計画課まちづくり推進係)、国土交通大学校へ行く！

【まちづくりイベント情報】 県内で行われるイベントの紹介

- マーチィの独り言 編集後記



宇都宮市のLRT事業について

宇都宮市 総合政策部 LRT整備推進室

1 事業の目的

宇都宮市は、これからの人口減少・超高齢社会の到来や地球環境に対応しながら、将来にわたり持続的に発展していくため、都市拠点や地域拠点、産業拠点など、それぞれの機能が連携しながら都市全体の魅力を高める「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成を目指しています。

その実現に向けては、各拠点間を結ぶ鉄道やLRT、バス、タクシーなど、地域の特性に応じた公共交通が機能的・効率的に連携する、階層性のある「公共交通ネットワーク」の構築が必要であると考えており、基幹となる公共交通として、南北方向の鉄道(東北新幹線、JR宇都宮線、東武宇都宮線など)とともに、東西方向には輸送力・定時性・速達性に優れ、本市のまちづくりにふさわしい交通システム「LRT」の整備を進めています。



図1 宇都宮市を目指す「ネットワーク型コンパクトシティ」の姿

2 LRTの事業概要

(1) 導入区間

LRTの導入ルートは、公共交通全体の円滑化、まちづくりとの連携などの観点から、本市の中心市街地の西側に位置する「桜通り十文字付近」から、東部地域の核となる住宅団地を有する「宇都宮テクノポリスセンター地区」までの約15kmを計画区間としています。平成25年3月に策定した「東西基幹公共交通の実現に向けた基本方針」において、整備の効果が早期に発揮されるJR宇都宮駅東側の約12km区間から優先的に整備することとしました。

また、平成25年10月に、隣接する芳賀町から、LRT計画に参画したいとの要望があり、多くの従業者を有する芳賀・高根沢工業団地までの町域区間約3kmを加えた計15kmについて、町とともに一体的に整備を進めていくこととしています。



図2 LRT導入区間及びルート図

表1 優先整備区間(芳賀町区間を含む)の概要

整備延長	約15km〔複線〕 (JR宇都宮駅東口～本田技研北門(芳賀・高根沢工業団地)付近)
停留場数	19か所(バリアフリー対応) (うちトランジットセンター 6箇所想定)
軌道構造	樹脂固定による制振軌道
導入車両	低床式車両〔LRV〕18編成 (車両長約30m 定員155名 福井鉄道のF1000形と同程度の車両を想定)
事業方式	公設型上下分離方式により整備 (施設は公共が整備・保有し、運営は民間等が行う)
事業費	約450億円 ※消費税は含まず (宇都宮市域及び芳賀町域)
料金体系	150円～400円
ダイヤ	新幹線の始発から終電まで乗り継げるダイヤを想定 (午前6時～午後11時台の約18時間の運行) ※ピーク時: 6分間隔(10本/時) オフピーク時: 10分間隔(6本/時)

(2) 施設・導入車両

ＬＲＴの施設は、利用者の視点にたった利用しやすいものとなるよう、レール部については低騒音、低振動で快適な走行ができる樹脂固定による制振軌道構造とするとともに、停留場やトランジットセンターなどについてはバリアフリー対応の設計を進めています。

車両についても、バリアフリー対応の低床式で加減速性能に優れたものとし、ピーク時の需要にも対応できる国内最大級の30m級車両の導入を想定しています。

ＬＲＴの車両は、その高いデザイン性から「まちのシンボル」としての役割も期待されており、今後、車両の外観や車体カラーの選定にあたっては「宇都宮らしさ」が発揮されるよう検討を進めていきます。



図3 車いすでのスムーズな乗降
(富山ライトレール)



図4 低床式車両の例
(福井鉄道 F1000形)

3 ICカードの導入

公共交通の利便性を高めていくため、乗降時間の短縮や運賃支払いの簡略化が図られ、公共交通を乗り継ぐ際にも便利な「ICカード」の導入を目指しています。

具体的には、鉄道、ＬＲＴ、バスなどの乗り継ぎ利用をはじめ、電子マネーの機能拡充や行政サービスとの連携など、さまざまな活用の可能性を含め、交通事業者と連携を図りながら、本市にふさわしいICカードシステムのあり方について検討を行っています。



図5 ICカードを用いた乗降例
(富山ライトレール)

4 市民理解の促進

本市が目指す公共交通ネットワークの構築やＬＲＴの整備については、市民理解の促進が重要となるため、継続した市民への説明を行っています。

具体的な取り組みとしては、「利便性の高い公共交通ネットワークや基幹となるＬＲＴ整備の必要性」、「ＬＲＴ事業の概要」、さらには「最新の取組状況」などについての説明やパネルの展示、職員との意見交換などを行う「オープンハウス」を出先機関やショッピングセンター等において開催するとともに、説明会の実施や市の広報紙を活用した情報提供を行うなど、分かりやすく丁寧な説明に努めています。



図6 オープンハウス開催の様子

5 今後の取組

今後は、設計業務を進めながら施設の計画をまとめていくとともに、交通事業者、関係機関等で構成する法定協議会において「地域公共交通網形成計画」などの計画づくりを行っていきます。

また、都市計画決定や軌道事業の特許取得、工事施工認可などの許認可手続きを進め、平成28年度の着工を目指すとともに、平成31年度の運行開始に向けて、取り組んでいきます。

平成26年度～平成28年度

・基本方針の策定（平成25年3月）

・各種調査・検討，測量・設計等

・法定協議会の設置

・「地域公共交通網形成計画」，
「軌道運送高度化実施計画」の策定

・都市計画決定，軌道事業の特許取得

・事業認可申請，工事施工認可申請

・事業着手



公共交通につよいまちづくりを目指して ー上信電鉄・佐野のわたし駅ー

高崎市 都市整備部 都市施設課

「上信線新駅設置事業」

高齢化が進む中、高齢者の方やお身体に障がいを持った方など、交通弱者の皆さまにも、安全にそして快適に移動できる手段の確保が必要不可欠になってきています。鉄道をはじめとする公共交通ネットワークの強化は今後のまちづくりにおいて非常に重要な課題のひとつとなっています。

こうした中、平成24年に地域の皆さまから公共交通の強化、特に新駅の設置について多くの声をいただきました。佐野地域は鉄道の線路はあるものの駅が無く、隣接の南高崎駅へは国道17号を横断する必要があり、下仁田方面へ向かうには烏川を渡り根小屋駅まで行く必要がありました。いわゆる公共交通の空白地域となっていました。

そこで鉄道事業者である上信電鉄(株)と協力し、新駅設置にむけた協議を進めることとなりました。

「佐野のわたし駅」は高崎市の行政としての“目標”と、地域の皆さんの“願い”が合わさって生まれた新駅なのです。

位置図



平面図



位置

高崎市内佐野町167-3番地
高崎駅から2.2km(所要時間約6分)

駅施設

プラットホーム 延長45m、幅員3m
ホームシェルター 2基
待合室 1基

駅前広場

送迎自動車用ロータリー 1200㎡
多目的トイレ 1棟
自転車駐輪場 3基(32台)

開業日

平成26年12月22日

「地域に愛される駅づくり」

駅の設置にあわせ、末永く地域の皆さまや利用者に愛され親しまれるようにと、駅名や駅施設のデザインを県内の小中学生を対象に募集を行いました。多数の応募の中から「佐野のわたし駅」が採用されました。新駅がある佐野の地域には昔、烏川の対岸・根小屋地域とを結ぶ「渡し舟」があったという歴史が残されています。このことから、地域に伝わる昔話になぞらえて、地域と地域、人と人を結び、現代の「渡し」の役割を担う駅となるよう「佐野のわたし駅」としました。駅施設のデザインについても、地域にゆかりのある謡曲「鉢木」の主人公・佐野源佐衛門常世のデザインなどが採用されそれぞれ現地に再現されています。皆さんも是非ご利用下さい。



渡し舟をイメージした入場門



高商大生による上信電鉄沿線 地域活性化への取り組み

高崎商科大学 コミュニティ・パートナーシップ・センター
センター長 ライトウ山崎晴世

高崎商科大学では、平成25年度文部科学省「地(知)の拠点整備事業」に採択された「地と知から(価)値を創出する地域密着型大学を目指して」のテーマのもとに、上信電鉄沿線の「観光まちづくり」とそれを推進する「人づくり」を目指し、地域の課題である沿線活性化に取り組んでいます。

1. 工女おもてなしプロジェクト

富岡製糸場の世界遺産登録推進に携わってきた本学は、昨年6月より「工女おもてなしプロジェクト」を実施しました。これは連携先の上信電鉄から世界遺産登録を祝賀するために学生の協力を得たいとの要請を受け、COC事業で計画していた学生による「駅おもてなしイベント運営」の一環として実施したものです。

「工女おもてなしプロジェクト」では、高商大生が富岡製糸場で働いていた工女の姿に扮し、上信電鉄高崎駅、上信電鉄車中、上州富岡駅にて富岡製糸場周辺の観光案内やオリジナルルートマップによる富岡製糸場への案内などを行いました。

本プロジェクトを実施することにより、地域全体でのおもてなしが演出され、観光客のみならず沿線の方々が富岡製糸場世界遺産登録に対してさらに関心を高めるきっかけとなりました。また、生活路線から観光路線への転換を模索する上信電鉄にとっては、本プロジェクトで大学生が観光客のおもてなしに従事したことにより、イメージアップにつながったようです。

本プロジェクトは、上信電鉄より高く評価され、プロジェクトの継続を打診されました。また、連携自治体である富岡市ならびに地域住民からも、本学学生による地域の活性化活動に対して好意的なコメント、激励、さまざまな支援をいただきました。JR東日本高崎支社からは本プロジェクトを評価していただき、同様のプロジェクトへの協力要請があり、昨年8月より、SL特別列車の運行に協力しました。



上信電鉄高崎駅



上信電鉄 車中



上信電鉄上州富岡駅



オリジナルルートマップ



2. 富岡製糸場周辺における観光満足度調査

富岡製糸場とその周辺を訪れる観光客の意識と行動の実態を把握するため、11月8日・9日の2日間、高商大生が調査員として製糸場周辺の4か所でアンケート調査を実施し、364件の回答を得ました。

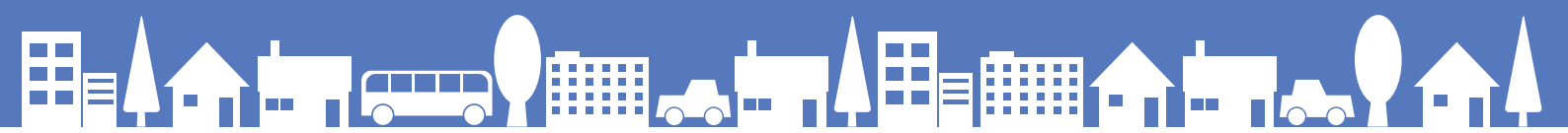
集計の結果、20.4%が富岡製糸場を「期待以上」と答えており、その他の設問とも合わせて全体的に富岡製糸場に対する満足度が高いことがわかりました。

一方、富岡での滞在時間については68.1%が「1～2時間の滞在」と回答しており、まちなかの回遊や滞在は少なく、製糸場の見学が中心であることが明らかになりました。さらに回答者の60.7%が自動車で来訪しており、一緒に訪れる場所として、こんにゃくパーク、伊香保温泉、軽井沢が多いことなど、新たな発見もありました。

本学では継続してこの調査を続け、データを富岡市と共有することで、富岡市が目指す「世界遺産にふさわしい日本一のまちづくり」に役立てていきたいと考えています。



工女姿でのアンケート調査



ぐんま“まちづくり”ビジョンシンポジウム モビリティ・マネジメント



群馬県県土整備部都市計画課まちづくり推進係

日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)
HP (<http://www.jcomm.or.jp/>) から

群馬県都市計画協会と群馬県主催による「ぐんま“まちづくり”ビジョン シンポジウム」が平成27年2月9日(月)高崎シティギャラリー(1階)コアホールにて開催されました。

基調講演：

「モビリティ・マネジメント～公共交通を使うライフスタイルはかっていい!～」

人口減少・超高齢社会が進展する中、中心市街地は衰退しまちの郊外化が進み、どこへ出掛けるにも自動車に依存するライフスタイルとなっておりますが、ここでもう一度ライフスタイルを振り返り、過度な自動車依存から脱却し、公共交通や自転車利用などへ転換するための動機付けやイメージ戦略など『モビリティ・マネジメント』について、筑波大学大学院 システム情報工学研究科 公共心理研究室の谷口綾子准教授にご講演いただきました。講演では、自動車利用を様々な観点から事故のリスクや健康への影響などを再確認し、公共交通を利用したくなる動機付けやイメージ戦略など、一般の方でもたいへん分かりやすい説明をしていただきました。



???「モビリティ・マネジメント」とは???

渋滞や環境、あるいは個人の健康等の問題に配慮して、過度に自動車に頼る状態から公共交通や自転車などを『かしくく』使う方向へと自発的に転換することを促す、一般の人々や様々な組織・地域を対象としたコミュニケーションを中心とした持続的な一連の取り組みのことを意味します。具体的には、コミュニケーション施策を中心として、様々な運用施策、システムの導入や改善、それらの実施主体の組織の改変や新たな組織の創出などを実施しつつ、持続的に展開していく一連の取り組みを意味します。



事例紹介：

ぐんま“まちづくり”ビジョン アクションプログラム

◆群馬県：「ぐんまビジョン」の概要

群馬県都市計画課の石田主幹が「ぐんま“まちづくり”ビジョン」の概要について説明しました。まず、群馬県の人口減少と高齢化の進行状況や将来の人口分布の予測を踏まえ、「ぐんまらしい持続可能なまち」を実現していくためのまちづくりの方向性や取組方針などを説明し、市町村の望ましい将来像を達成するための実行計画である『アクションプログラム』の策定方法や策定スケジュールについて説明しました。

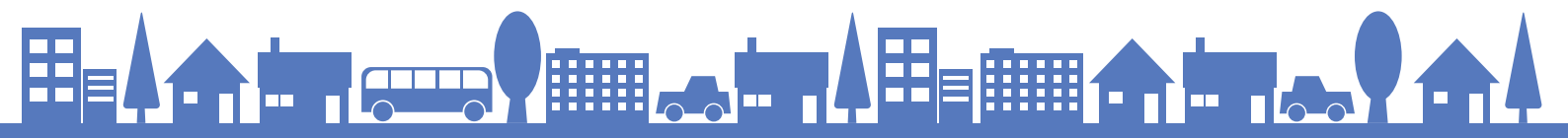
◆桐生市：桐生市アクションプログラム

桐生市都市計画課の日浦主任により「桐生市アクションプログラム」の特徴について説明していただきました。桐生市では、①まちなかのにぎわいと活力の創出、②交流人口の拡大による地域活性化の2つを重点プロジェクトとして定め、東武鉄道新桐生駅の再整備による交通結節点の強化や、低速電動コミュニティバス「MAYU(まゆ)」などによる多様な交通手段の確保などを実施していきます。



◆みどり市：みどり市アクションプログラム

みどり市都市計画課の^{おおまめうだ}大豆生田主査により「みどり市アクションプログラム」の特徴について説明していただきました。みどり市では、①安全安心で快適に過ごせるまちづくり、②地域資源を活用した観光まちづくりの2つを重点プロジェクトとして定め、JR岩宿駅と東武鉄道阿左美駅の駅前広場等整備による交通結節点の強化や、ながめの余興場や高津戸峡などの観光名所へ向かうための多様な交通手段の確保などを実施していきます。





マーチィ's ROOM

マーチィに訊け！



今号のおすすめ
ライブラリー
こちら！



まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます！
『LRTが京都を救う～都大路まちづくり大作戦』 土居靖範・近藤宏一・榎田基明 共著(つむぎ出版)

この本は2004年に発行されたもので、LRT導入によるメリットを、京都を具体例として取り上げて提案をしている内容となっています。

この本の中で著者は、公共交通で生活圏全体をカバーするためには、LRTといった鉄軌道だけではなく、それに接続するバス等の整備も必要であり、「交通過疎地域」解消は、住み続けられるまちづくりの視点で極めて重要であると主張しています。この視点で考えたとき、LRTはただ単にレールを敷き車両を走らせればすむというわけではなく、“人と環境に優しい交通機関はどのようなものであるべきか”をふまえて、交通体系全体を構築していく必要があります。

まずは、各都市の現状と問題点を洗い出し、住み続けられる活力あるまちをつくるために必要な交通網を考えていく必要があるのではないのでしょうか。

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

帝京大学院 経済学研究科 山根真理子



山根真理子さん

平成25年度にパートナーネットワーク講座を受講し、群馬県まちづくりファシリテーターに認定していただきました。講師である大下教授の大学院でのゼミナールに所属しております。講座を受講してからもうご縁があり、この2年間で前橋市、藤岡市、桐生市、渋川市、みどり市にお伺いすることができました。

講座を受講してから、ファシリテーターの【参加者の潜在的な思いを引き出して、意見を調整し、一つにまとめる】という役割に魅了されてしまい、「ワークショップ」と聞くと胸が高鳴ってしまいます。認定後は大下教授のご指導のもと、学内をはじめ様々な場でファシリテーターを務めさせていただき、少しずつではありますが、実践を通して技術を高めています。

「相互理解」を深め、さらに「合意形成」を図るというワークショップの手法は、行政や企業、そして市民の思いを重ね合わせることで、地域活力が向上する有効な手法だと考えます。

今までは「地域づくりに携わりたい」という漠然とした思いを抱いていましたが、パートナーネットワーク講座で学んだファシリテーション技術を活かして、【ボトムアップ型の地域づくり】に貢献したいと、大学院修了を目前に今後の目標が定まってきたところです。

都市計画課事務局の皆さまには細やかな配慮をいただき、また講師の大下茂教授とアシスタントの滝沢さまにはテンポの良い講義と実践の工夫をご指導いただきました。そして、平成25年度受講生の皆さま、温かく受け入れてくださり、本当に楽しいワークショップの場を創ってください、ありがとうございました。パートナーネットワーク講座を受講して本当に良かったです。



講座の様子

マーチィの掲示板

新井(群馬県都市計画課まちづくり推進係)、国土交通大学校へ行く！



みなさま、こんにちは。群馬県都市計画課の新井と申します。

2015年1月19日から1月30日までの12日間、東京都小平市の“国土交通大学校”で区画整理の勉強をして参りました。区画整理初心者の方にとっては、講義や課題研究全てが勉強になりました。

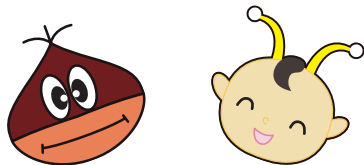
研修内容は、区画整理事業の一般的な流れや法規関係、さらには民間企業の講師としての事業の実施例など、多岐にわたる貴重な講義だけに留まらず、とある市のとある地区を課題地区として現地視察を行い、その後実際に基本構想を策定するという研究課題もありました。

研修期間中は朝から夕方まで講義を受け、夜はグループワークで課題研究といった日々で、とても充実した毎日を過ごすことができました。

研修内容がためになったというだけでなく、北は北海道から南は鹿児島までの行政職員と、つながりを持つことができたということが、非常に貴重であると感じました。



まちづくり イベント情報



“桐生春まつり”

桐生新町町立て祭・424年～徳川家康公没後400年～

桐生の発祥ともいえる桐生新町の歴史や文化を継承し、まちの賑わい創出、地域の活性化を目的とした行事です。大野八右衛門の命日の追善祭から始まり、桐生新町に関する歴史的資料展示のほか、幕末の桐生を題材にした作家関口美沙恵氏による講演会、徳川家康の側近である天海僧正のものと伝わる袈裟や燕尾帽などの公開を予定しています。

■ 3月22日(日)(大野八右衛門命日)～4月5日(日)(イベントによって異なります)
10:00～16:00(イベントにより異なります)

■ 本町、錦町、末広町、有鄰館、鳳仙寺等

【お問い合わせ先】

桐生市役所 重伝建まちづくり課 歴史まちづくり係

TEL 0277-46-1111(内線348)

桐生新町重伝建地区



おしらせ

花と緑のぐんまづくり2015 in 中之条 ～ふるさとキラキラフェスティバル～ プレイイベント 花と緑のぐんまづくりシンポジウム 花と緑をもちいた地域づくりについて

■日時 平成27年3月27日(金)
13:30～16:10
(受付開始13:00)

■会場 「花の駅美野原」
(中之条町大字折田2411)
花みどり館



コーディネーター
須磨佳津江
ジャーナリスト
元NHKアナウンサー
(公財)全国都市緑化機構
評議員
(公財)日本花の会理事

- 第1部 13:30～14:30 ●ぐんま花のまちづくりコンクール表彰式
●受賞者事例発表
- 第2部 14:40～16:10 ●パネルディスカッション
「花と緑をもちいた地域づくりについて」

■参加費無料

■申込方法 FAX・メール・ハガキのいずれかに参加希望者全員の氏名と代表者の住所・電話番号を明記してお申し込みください。

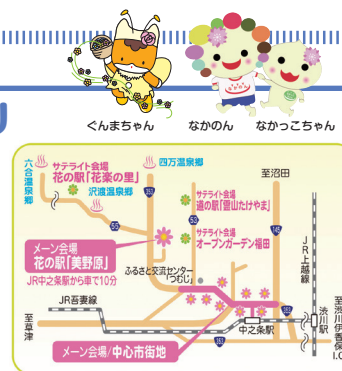
■締切 3月23日(月) ■定員 170名

■主催 花と緑のぐんまづくり推進協議会(TEL:027-226-3543)
前橋市大手町 1-1-1 群馬県都市計画課内
「花と緑のぐんまづくりシンポジウム」係
FAX: 027-221-5566 mail: hanatomidori@pref.gunma.lg.jp

花と緑のぐんまづくり in中之条 おすすめイベント情報!



※写真はイメージです



●吉谷桂子先生監修の花壇

花の駅「美野原」会場にはイングリッシュガーデンの吉谷桂子先生監修の花壇が登場。約3万株の花が織りなす花のパレットガーデンは必見!

●スタンプラリー

花で彩られた中心市街地会場を中心に、花の駅「美野原」会場、サテライト会場内のラリーポイントを回ってお楽しみ抽選会に参加しよう! 中之条の街中は歴史ある建物や、おしゃれな建物が数多くあるので街中散策を楽しめます。

●中之条駅前壁面花壇

中之条駅前には町の人と花をいっぱい飾るとともに、高さ3m・横7mの大きな壁面花壇が皆様をお出迎えします。

また、特急草津やリゾートやまどりの停車駅にもなっていて電車でもお越しいただきやすくなっています。 **その他にもイベント盛りだくさんです。**

The creation of new Hometown

新しいふるさと創造

建設コンサルタント
株式会社 高崎測量

〒370-0002 高崎市日高町580番地
TEL 027-361-2271(代表)
FAX 027-363-4743
URL www.takasoku.co.jp
E-mail tk-mail@takasoku.co.jp

- ・都市計画
- ・測量調査
- ・土木設計
- ・建物補償

帝京大学 観光経営学科
Department of Tourism Management

2015 年 8 月 31 日 現在 地上 22 階の新校舎が誕生します。

学際的教養、豊かな国際感覚、確かな専門知識を
あわせ持った人材を育成します。

- ・観光産業を経済学、経営学の流れの中で学ぶ。
- ・「旅行業務取扱管理者」資格取得に向けて万全のフォロー体制。
- ・実地で旅行業務が学べる「実習授業」が豊富。

入学試験情報 ※詳細は必ず入学試験要項 2015 をご確認ください。

	出願期間	選考試験日	合格発表日
一般入試 Ⅲ期	平成 27 年 2 月 18 日(水) ～ 3 月 3 日(火)	【試験日自由選択制】 3 月 7 日(土) 3 月 8 日(日)	3 月 10 日(火)

お問い合わせ先 八王子キャンパス広報グループ TEL:0120-508-739

〒192-0395 東京都八王子市大塚 359 URL:<http://www.teikyo-u.ac.jp>

マーチの独り言



昨年度の編集長を任されていた尾崎です。「マーチに訊け! (群馬地名由来の探求)」で、群馬県内の日本百名山の由来や眺望写真を書いていたものです。人生の目標として日本百名山踏破を掲げたものの、最近は時間がとれずなかなか登山には行けない状況です…。(現在、19座)そこで体力維持のために始めたのがランニング。毎日通勤(行き帰り)、土日も含めほぼ毎日10km以上走っています。

まず力試しとして11月3日の「ぐんま県民マラソン」のハーフに出場し、自己最高の1時間33分台を記録! 現在は、奇跡的に当選した2月22日の「東京マラソン」のフルに向け、日々精進しております。無事完走とサブ4の達成は最低限の目標に、願わくばサブ3.5を達成するようがんばってきます!! 今号が発行されている頃には結果が出ておりますので、お楽しみに。

(最終校正に間に合ったので、)結果は3時間28分31秒で無事完走することができました!!! 今後も引き続き精進して行きたいと思います。



有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。

【お問い合わせ先】

群馬県国土整備部都市計画課まちづくり推進係 TEL 027-226-3665 URL <http://www.pref.gunma.jp/06/h5810001.html>